



BEPPU UNIVERSITY

令和4年度

雇用主アンケート調査結果報告書

令和4年9月7日

別府大学

はじめに

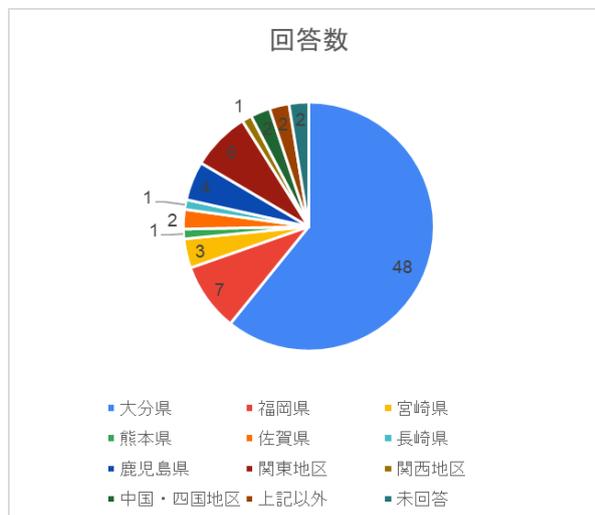
令和4年度は、アセスメント・ポリシーに基づく「地元社会・産業界からの『外部評価』』として、卒業生の就職先での卒業生に対する評価を把握するため、2022年度の卒業生の就職先にアンケートを実施しました。その結果、依頼に対して79件の回答が得られました。今回の調査は、就職した学生の学部・学科を問わずに行っているため、学科ごとのDP達成度を測ることはできませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた企業・団体の関係者に感謝申し上げます。今後この結果を教育改善に活用し、高等教育機関である大学の教育の質保証に繋げていく所存です。

雇用主アンケート調査結果

問1. ～問6. は、主に回答いただく企業の状況について質問

問1. 本社所在地

所在地	回答数	割合
大分県	48	61
福岡県	7	9
宮崎県	3	4
熊本県	1	1
佐賀県	2	3
長崎県	1	1
鹿児島県	4	5
関東地区	6	8
関西地区	1	1
中国・四国地区	2	3
上記以外	2	3
未回答	2	3



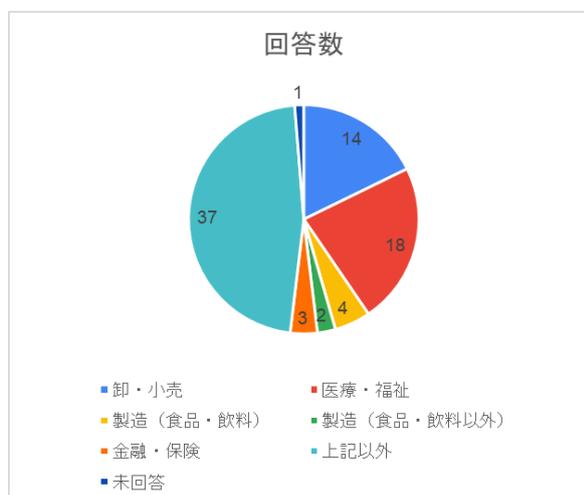
問2. 従業員（職員）規模

従業員（職員）数	回答数	割合
1,001以上（人）	17	22
301～1,000	23	29
101～ 300	23	29
51～ 100	4	5
21～ 50	6	8
20以下	5	6
未回答	1	1



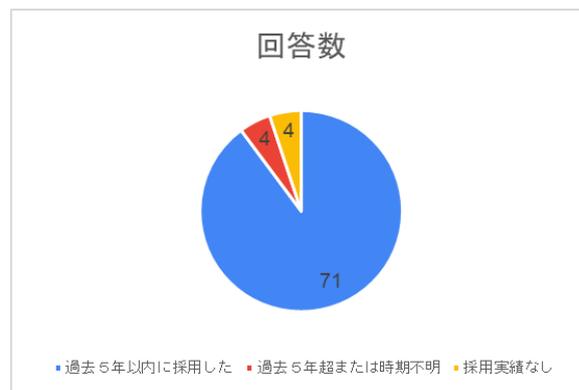
問3. 主たる業種

主たる業種	回答数	割合
卸・小売	14	20
医療・福祉	18	26
製造（食品・飲料）	4	6
製造（食品・飲料以外）	2	3
金融・保険	3	4
上記以外	37	53
未回答	1	1



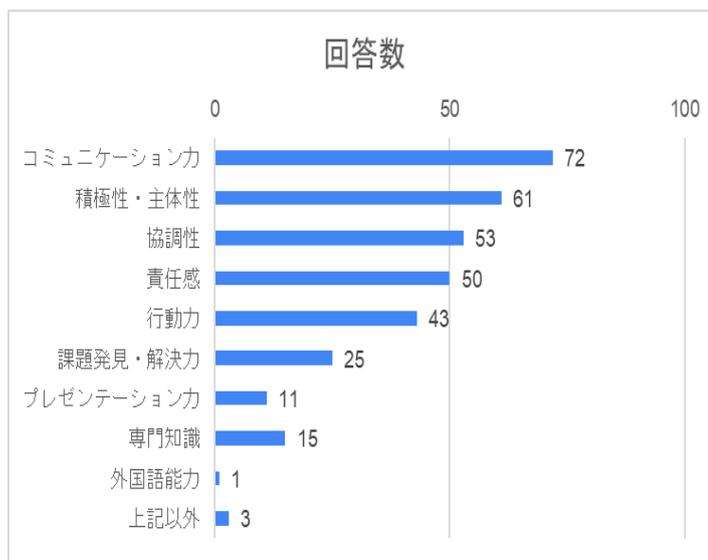
問4. 本学からの採用実績

本学からの採用数	回答数	割合
過去5年以内に採用した	71	90
過去5年超または時期不明	4	5
採用実績なし	4	5



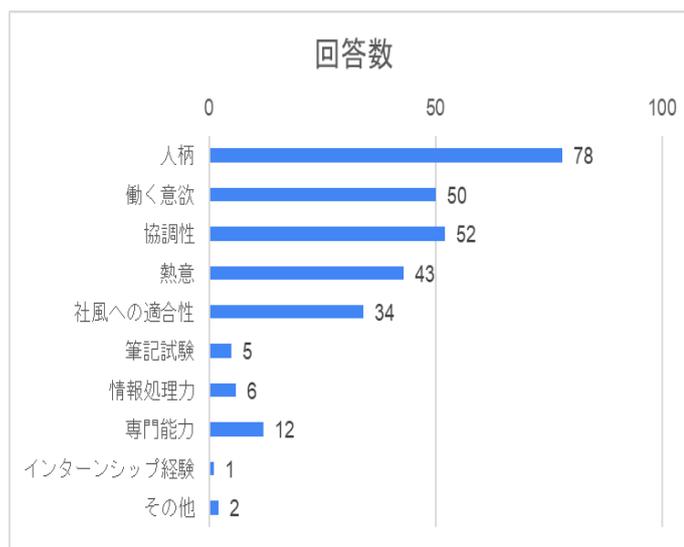
問5. 求める（重視する）能力[複数回答可]

求める能力	回答数	割合
コミュニケーション力	72	22
積極性・主体性	61	18
協調性	53	16
責任感	50	15
行動力	43	13
課題発見・解決力	25	7
プレゼンテーション力	11	3
専門知識	15	4
外国語能力	1	0
上記以外	3	1



問6. 重視する事柄[複数回答可]

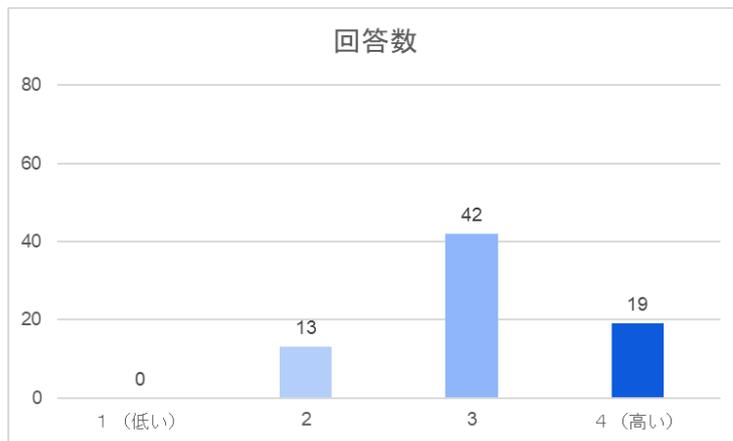
重視する事柄	回答数	割合
人柄	78	28
働く意欲	50	18
協調性	52	18
熱意	43	15
社風への適合性	34	12
筆記試験	5	2
情報処理力	6	2
専門能力	12	4
インターンシップ経験	1	0
その他	2	1



問7. ～問16. は、本学卒業生の修得している能力について質問
 [不足している]から[できている・ある等]を、1から4の数値で回答

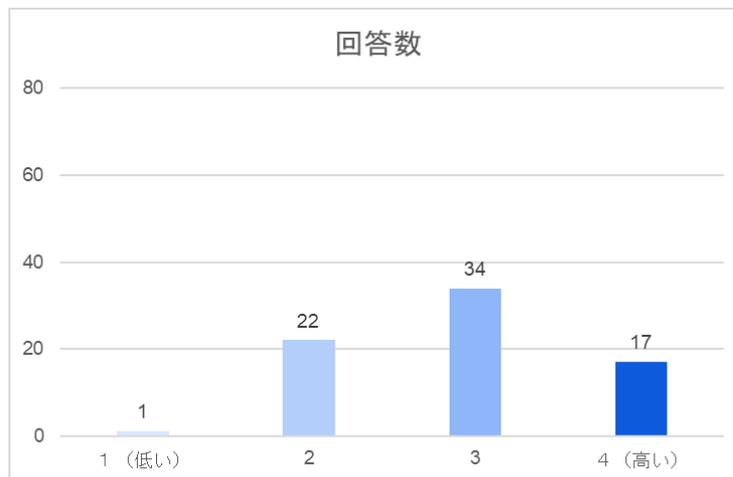
問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	0	0
2	13	18
3	42	57
4 (高い)	19	26



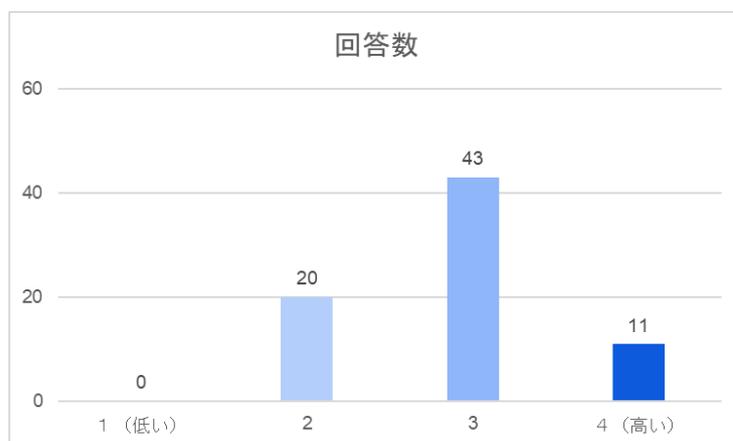
問8. 専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	1	1
2	22	30
3	34	46
4 (高い)	17	23



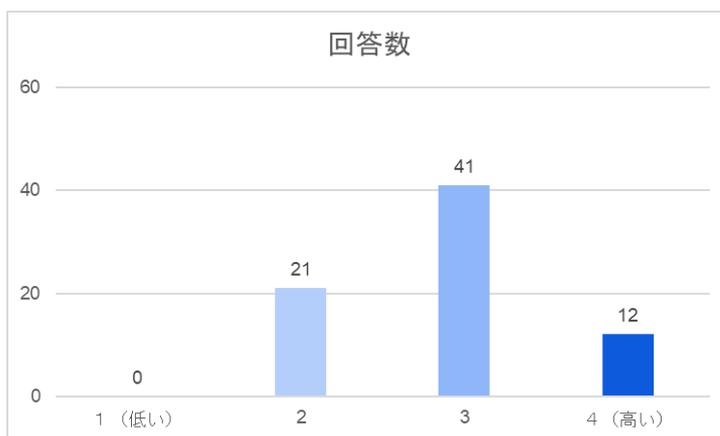
問9. 論理的に考え分析する能力はあるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	0	0
2	20	27
3	43	58
4 (高い)	11	15



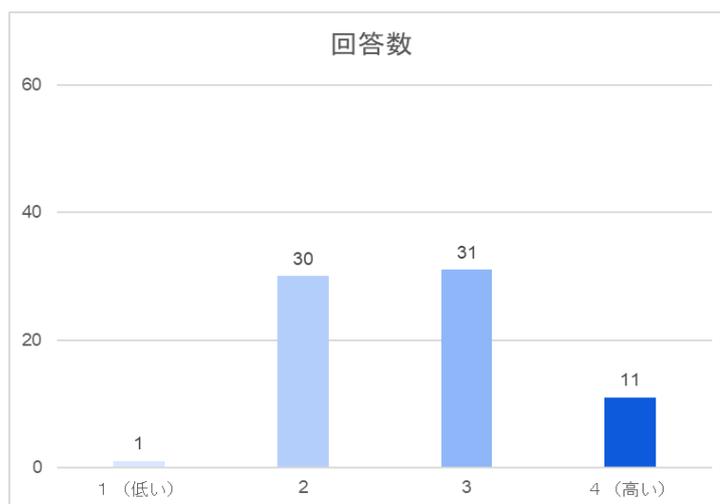
問 10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	0	0
2	21	28
3	41	55
4 (高い)	12	16



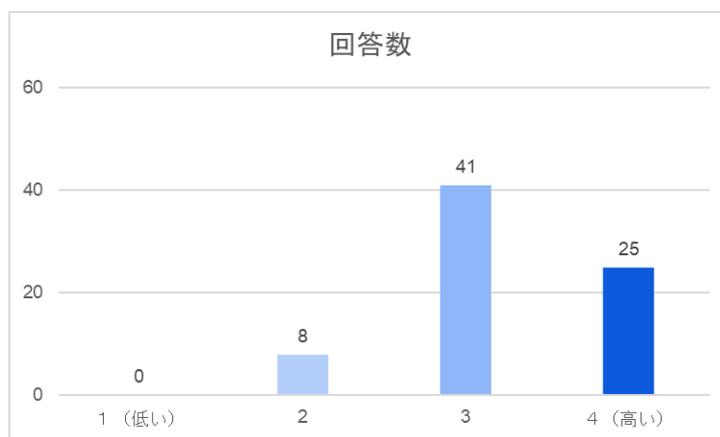
問 11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	1	1
2	30	41
3	31	42
4 (高い)	11	15



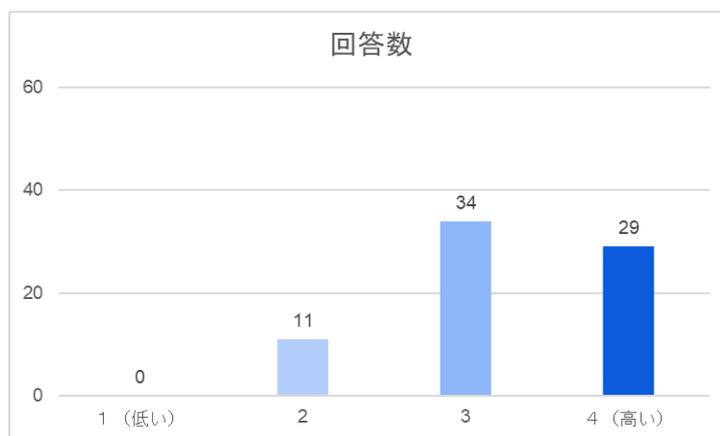
問 12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	0	0
2	8	11
3	41	55
4 (高い)	25	34



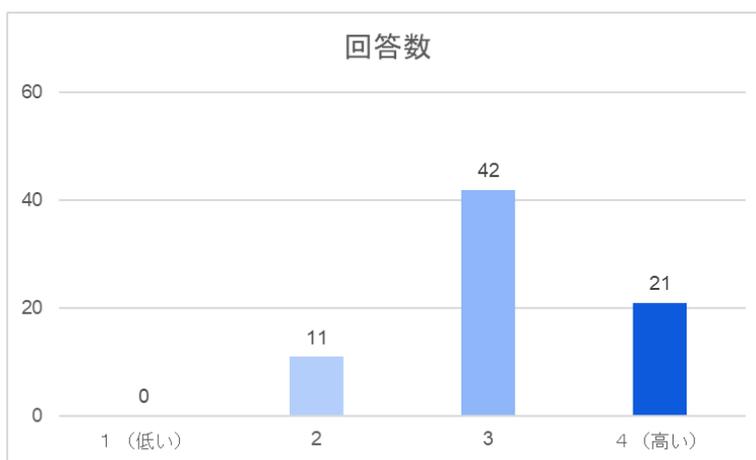
問 13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	0	0
2	11	15
3	34	46
4 (高い)	29	39



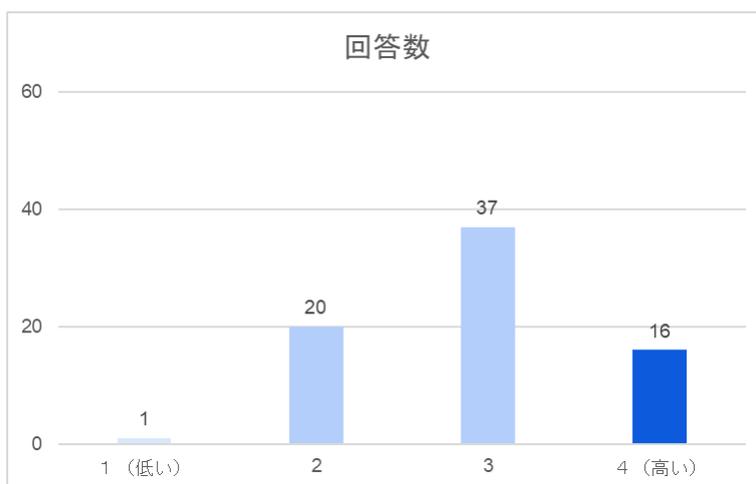
問 14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	0	0
2	11	15
3	42	57
4 (高い)	21	28



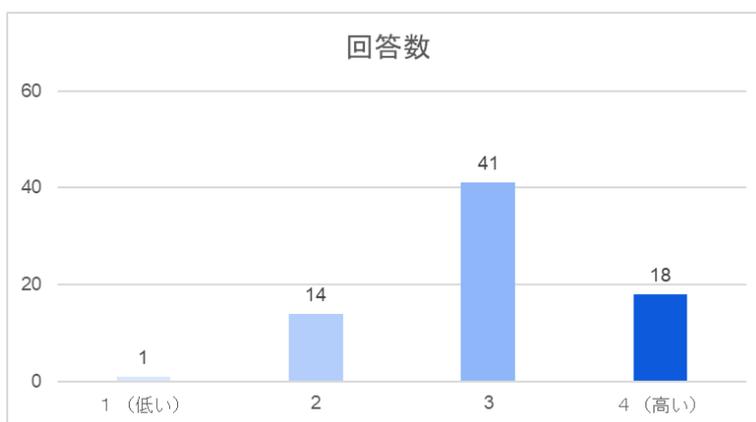
問 15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	1	1
2	20	27
3	37	50
4 (高い)	16	22



問 16. 基本的な情報処理能力 (パソコンスキル等) を身につけているか

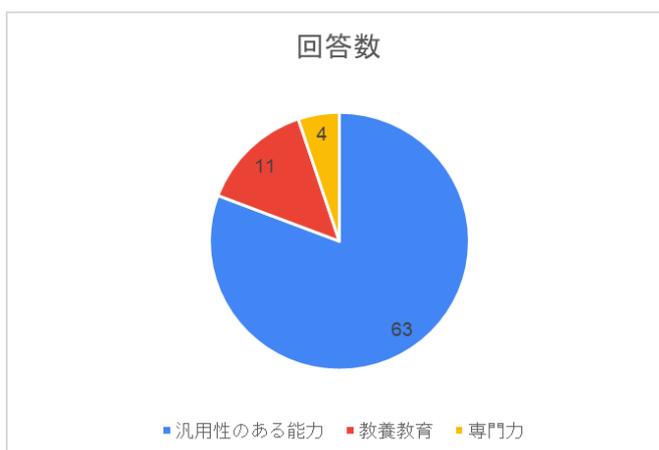
数値	回答数	割合
1 (低い)	1	1
2	14	19
3	41	55
4 (高い)	18	24



問 17. から問 18. は、回答いただく企業の今後の希望等について質問

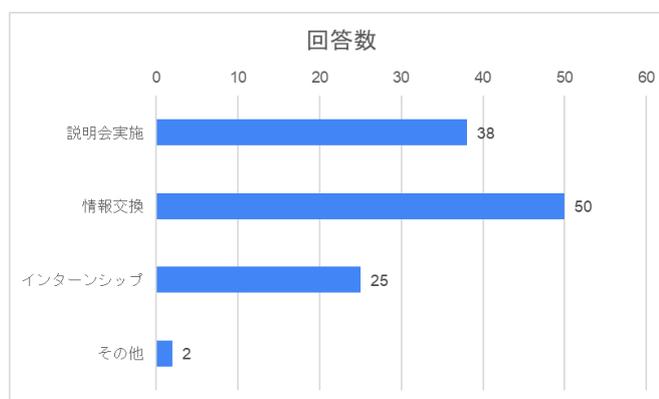
問 17. 企業として本学で身に付けてもらいたい能力は何ですか

能力	回答数	割合
汎用性のある能力	63	81
教養教育	11	14
専門力	4	5



問 18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(複数回答可)

希望事項	回答数	割合
説明会実施	38	33
情報交換	50	43
インターンシップ	25	22
その他	2	2



自己評価

問 7 は教養、問 8 は専門力、問 9、10 は汎用力の中の思考力、問 11、12 は汎用力の中の実行力、問 13、14 は汎用力の中の表現力、問 15、16 は汎用力の中の情報力について調査を行った。

教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

(1) 大学教育に必要な思考力や表現力などの基礎的素養を身につけ、本学の建学の理念、教育方針等を理解している。

(2) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる。

(3) 人間と文化の探求、現代社会の多面的理解、科学技術と自然環境の理解に必要な基礎的素養を身につけ、情報処理や英語の基本的なリテラシーを身につけている。

(4) 専門分野の学修を通じて、人間や社会、学問等についての基礎的素養を身につけている。

問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか (83%)

※問の () 内は3、4と回答した割合

評価 (1~4)	理由
3	質問に対する4段階評価のうち、3及び4の評価をしたのは全体の83%で、8割を超える雇用主から肯定的な評価をいただいた。そのうち最も高い4の評価をしたのは26%で、昨年度の19%より向上している。2の評価をしたのが18%、1の評価をしたのが0%ではあったが、全体の2割ちかくに社会人としての知識・教養が十分身につけていない状況がうかがわれる。問17で身につけてもらいたい能力として教養教育を挙げた企業は14%あり、汎用性のある能力81%を大きく下回った。これは例年の傾向で、その格差がより広がっているものの、今後も教養が不足しがちな学生への対策を考える必要がある。

専門力 (専門に関する基本的な知識、技能)

<社会的意義><職業生活で評価される能力><専門に関する能力>

問8. 専門分野で身に着けた基本的な知識・技能を活かすことができているか (69%)

評価 (1~4)	理由
3	質問に対する4段階評価のうち、3及び4の評価をしたのは全体の69%となり、昨年度の64%より増加し、評価4の割合も増加しているが、2の評価をしたのが30%、また1の評価をしたのが1%あり、低い評価が31%であった。まだ3割以上で、専門的な知識・技能を活かすことができていることにも留意すべきだろう。「企業として本学で身に着けてもらいたい能力について」(問17) 専門力と答えたのはわずか5%だったことを踏まえると、専門性は入社後に身に着ければよいと考えている企業も少ないと想定される。しかし本学の多くの学科で資格や免許を取得するための授業や指導を行っていることを考えると低い評価を出した企業・職場がどのような専門性を求めているのかについて把握する必要がある。

汎用力 (社会で活用できる汎用性のある能力)

(1) 思考力

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につけている。判断力、創造力、企画力などを含む。

問9. 論理的に考え分析する能力はあるか (73%)

問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか (71%)

評価 (1~4)	理由
----------	----

3	<p>質問に対する 4 段階評価のうち、問 9 では、3 及び 4 の評価をしたのは全体の 73%、問 10 では 71%で、昨年度とほぼ同水準であった。最も高い 4 の評価をしたのは、それぞれ 15%、16%であつが、問 9 では昨年度より有意な向上がみられる（昨年度はそれぞれ 7%、12%）。一方 2 の評価は問 9 では 27%、（昨年度 25%）、問 10 では 28%（昨年度 18%）、1 の評価はそれぞれ 0%であった。「企業として本学で身に付けてもらいたい能力について」（問 17）汎用力と答えた企業が 81%と圧倒的に多かったことから判断すれば、3 割弱が低い評価だったことは無視できない数字である。本学の課題解決型の授業をさらに吟味して強化することの検討が必要だろう。</p>
---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 実行力

自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につけている。主体性、協働力、傾聴力などを含む。

問 1 1. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか (57%)

問 1 2. 組織において、他者や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか (89%)

評価 (1~4)	理由
3	<p>質問に対する 4 段階評価のうち、問 1 1 では、3 及び 4 の評価をしたのは全体の 57%と低かったが、問 1 2 では 89%であった（どちらも昨年度 52%、80%より向上）。その一方で 2、1 の評価が問 1 1 で 41%、1%、問 1 2 で 11%、0%だった。本学の学生のリーダーシップの資質については約 4 割が低い部類に入ったというのは、おとなしい学生が多いといわれることを裏付けるものとみられる。これに対応してか、協調性については、89%が高い部類の評価を得ている。本学の強みとして活かしつつ、リーダーシップ育成にも今後検討していくことが必要だろう。</p>

(3) 表現力

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につけている。発信力、日本語力、外国語力などを含む。

問 1 3. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか (85%)

問 1 4. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか (85%)

評価 (1~4)	理由
----------	----

3	質問に対する4段階評価のうち、問13では、3及び4の評価をしたのは全体の85%(昨年度88%)、問14では85%(昨年度79%)であった。85%の企業が本学の学生の礼儀やコミュニケーション力に一定の評価をしていることは、心強い内容だと考えられる。企業が求める能力や事柄として、コミュニケーション力や人柄が上位にあることにマッチしていると言える。とはいえまだ問13、問14で15%が低い評価であることにも留意して、社会人としての「常識」をしっかりと身に付けてもらうための教育の充実を図るための努力を引き続き行うべきだと考える。
---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 情報力

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につけている。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

問15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができているか (72%)

問16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか (79%)

評価(1~4)	理由
3	問15は、外部からの情報を収集する能力であり、問16は、パソコンのスキルそのものの操作能力ということになり、同じ「情報力」の質問であるが、本質的にはことなる質問である。個人が情報を収集するのにこの2つの質問は連動してくると考えられるが、問15では、3と4の評価は72%で昨年度60%より向上している。問16では、同様に79%で昨年度と同水準であった。本学のICT教育の成果は維持しつつ、実際の情報収集能力が向上しつつあるとは評価できそうであるが、今後この傾向(T=有用な技術、に加えてI=有用な情報)を維持するよう、教育の内実強化をさらに検討したいところである。

総評：

問17にあるように、企業側が「本学で身に付けてもらいたい能力」は汎用力(81%が回答)が圧倒的であり、教養教育(14%)、専門力(5%)は低いものであった。これとは別に、問5の「求める(重視する)能力」でコミュニケーション力が72%、積極性・主体性が61%、協調性が53%、責任感が50%だった。問6「重視する事柄」で人柄が78%で協調性(52%)以下を引き離していた。このような結果から判断すれば企業が求める人物像がある程度わかってくる。問7から問16については、問9から問16までが汎用力に関する回答であり、この部分の8つの回答で3、4合計の平均は76.4%。最も高いのが問12の協調性(89%)、最も低いのが問11のリーダーシップ性(58%)だった。企業の求める汎用力は、本学の第三期中期計画の「自ら考え、自ら立つ」人材育成、「全学生の人的成長」の内実でもありと考え、今後のカリキュラムの編成を検討すべきであろう。ただし企業側の「求める能力」で低かったとはいえ、教養、専門力の強化は多様な人的成長をささえ、汎用力をささえる力とも考えられる。長いスパンでの効果をも重視した大学教育を考えて、出口戦略を構築しなければ、学生の質の向上、ひいては就職の質の向上につながらないと考えられる。

資料

「問 19. その他、自由意見を記載お願いします。」

※個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

- ・貴学の卒業生が弊社のどの社員かわからなかった為、大学卒の新卒の平均情報で入力させていただきました。お名前のご提示があるとより詳しく回答ができたと思います。
- ・学生には、mission と Passion をもって Action を起こせる人財になって欲しいと願っています。また、トレス耐性に強いことやコンピテンシーが高い事も重要な要素となります。
- ・卒業生のレベルも上がってきていると思います。郷土の発展の為に共に頑張っていきたいと思えます。
- ・問 7～16 については採用後間もないため判断が出来ません。
- ・学内の合同説明会等ございましたら、ご案内いただければと思います。卒業生 1 名、頑張ってくれています。
- ・地元の大学として地元企業への人材輩出を引続きお願いします。
- ・今後ともよろしく願います。
- ・昨今、殆どの業界で日本人の人材が不足しており、外国人人材を受入れしても日本人正社員との連携が出来ず、無駄に人件費を使い悪循環となっています。特に大分県は製造業（自動車、半導体関連）が多く、日本人正社員も疲弊して来ています。今後は大分県内での（外国人材）就職（紹介）活動を支援して県内の企業への協力体制を確立したいと考えております。在学期間中にアルバイトでの工場勤務経験も多数可能ですので、インターンシップ以上の効果も見込めます。まずは情報共有から出来ればと思います。もちろん日本就職先のご紹介先も継続しております。※日本人に関しては、いろんな業界が御座います。宜しく願います。
- ・この度は、今年度採用の〇〇さんの採用に関してお世話になり誠にありがとうございました。〇〇さんは持ち前の明るさで、事業所でしっかり担当業務に励んでいただいております。今後ともお世話になることもあると存じますので、どうぞよろしく願います。
- ・今年入社して頂き、社宅にも入って頑張ってもらっています。これからも学生の方に安心して入社、勤務して頂けるよう努めて参ります。是非これからもお付き合いさせて頂ければ有難いです。宜しく願います。
- ・いつも大変お世話になっております。貴校の OBOG の社員には新人賞や社長賞を獲得するなど、大変活躍いただいております。今後も弊社に興味を持っていただき多くの学生さんが入社して下さることを心よりお待ちしております。今後ともどうぞよろしく願います。

別府大学アセスメントポリシー

1. 目的

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、厳格で客観的・公正な成績評価を行ない、かつ、成績評価を含めた複数の方法で学生の学修到達状況を多角的・総合的に評価することによって、教育の質の向上及び教育の質の保証を行う。

2. 成績評価

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、シラバスに明示した授業の到達目標及び評価方法並びに学科履修規程に明記された成績評価の区分によって、厳格で客観的・公正な成績評価を行う。

3. 成績評価を含めた多角的な学修到達状況の評価

別府大学は、2の成績評価に加え、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、各学科・課程等（学位又は教育プログラム策定単位）を基本に、その学修内容等に応じ、下記から選択した複数の方法で学生の学修到達状況や達成すべき質的水準を多角的・総合的・客観的に検証（測定）・評価する。このことによって、ディプロマポリシー（学修到達目標）を起点としたPDCAサイクルを回し、授業内容、授業方法、評価基準、カリキュラム、入学者選抜などについて改善を図るとともに、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの各ポリシーについて必要な見直しを行う。さらに、学修成果(到達目標)の達成度評価を集約し、別府大学全体の学修成果の達成状況进行评估する。

① ポートフォリオ学修支援システムでの「学生による評価」

学生自身が、ポートフォリオ学修支援システムを利用して、学修成果(到達目標)の達成度を自己評価する。

② 口頭試問での「教員による評価」

卒業時に修得することが期待される学修成果(到達目標)を、卒業論文・卒業制作発表会または口頭試問によって評価する。

③ まとめ試験による「客観評価Ⅰ」

科目区分毎に「まとめ試験」による内部アセスメントテストを行い、修得することが期待される学修成果(到達目標)について達成度を確認する。

④ アセスメントテストによる「客観評価Ⅱ」

客観的な評価を行うために、外部テストなどを利用したアセスメントテストによって、学修成果(到達目標)の達成状況进行评估する。

⑤ 卒業生調査による「卒後評価」

別府大学教育への評価、職業生活や社会生活での必要な知識と能力、別府大学への希望などについて、卒業生への調査を行うことで、学修成果(到達目標)の達成状況进行评估する。

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

在学生においては、実習先訪問や実習連絡会議等を通して、学外実習先の企業や施設などでの学生に対する評価を把握し、到達目標の達成度进行评估する。卒業生においては、就職先の

企業等での卒業生に対する評価を把握し、到達目標の達成度を評価する。

令和元年度アセスメント・ポリシーに基づく達成度評価

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

目的：別府大学アセスメント・ポリシーでは、評価指標⑥として「地元社会・産業界からの『外部評価』」を定めている。これに基づき、「令和元年度雇用主アンケート」の結果から DP 達成度を評価し、本学の教育・研究上の課題を明らかにする。

実施方法

1. 「令和元年度雇用主アンケート」の結果に基づき、別府大学のすべての学部・学科の学生が共通して身につけることとしている①教養 ②専門力 ③汎用力について、それぞれ 4 段階で到達度を評価する。
2. 4 段階の評価基準は、以下の表のとおりとする。

評価	評価の基準
4	DP の達成度が 80%以上
3	DP の達成度が 60%以上 80%未満
2	DP の達成度が 40%以上 60%未満
1	DP の達成度が 40%未満

3. DP の 3 つの力について、達成度についての総評を行う。

評価結果の集約：各学科・部署で実施するアセスメント・ポリシーに基づく調査等の結果は、IR 推進委員会が集約する。

評価結果の報告・公表：評価結果は学長への報告後、大学企画運営会議で報告し、別府大学ホームページ上に公開する。

企業等へのアンケート調査依頼文

令和4年8月18日

採用ご担当者各位

別府大学
学長 友永 植

アンケート調査ご協力をお願い

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本学学生の就職活動及び採用につきまして格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別府大学では、企業・団体等の採用担当者の皆様を対象にアンケート調査を実施しております。本学学生の採用にあたって、貴組織に必要な人材となるための力について等のご意見をお伺いし、本学の今後の教育力の向上、改善に活かしたいと考えております。

つきましては、下記の方法にて実施いたしますので、ご多用中大変恐縮ですが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的

各企業・団体の採用担当者の皆様に、本学学生の採用や仕事面における必要な人材についてご意見

をお伺いし、今後の教育力の向上や改善に活かしたいと存じます。

2. 調査対象

本学卒業生の就職先

3. 回答期限

令和4年9月2日（金）

4. 実施方法、回収方法

URL または QR コードを用いて、インターネット上のアンケートページにアクセスして回答する。

※なお、回答は機械的に処理され、社名等が特定できるような形で利用されることはありません。

URL : <https://forms.gle/V3A85FCKC52qy58s7>



<問い合わせ>

〒874-8501 大分県別府市北石垣82

別府大学キャリア支援センター（高橋敏、高橋良三）

Tel:0977-66-9623

問9. 論理的に考え分析する能力はあるか

不足している ←————→ ある
1 2 3 4

問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか

不足している ←————→ ある
1 2 3 4

問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか

不足している ←————→
1 2 3 4

問12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか

不足している ←————→
1 2 3 4

問13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか

不足している ←————→ 身につけている
1 2 3 4

問14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか

不足している ←————→ 身につけている
1 2 3 4

問15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか

不足している ←————→
1 2 3 4

問16. 基本的な情報処理能力（パソコンスキル等）を身につけているか

不足している ←————→ 身につけている
1 2 3 4

○本学に求めるもの、期待するものについて

問17. 企業として本学で身に付けてもらいたい能力は何ですか

1. 人間形成に必要な教養
2. 仕事に必要な専門力
3. 社会で活用できる汎用性のある能力

(論理性・主体性・判断力・企画力・コミュニケーション力・リーダーシップ等)

問18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(複数回答可)

1. 本学の先生や就職担当者との情報交換
2. インターンシップ派遣の増加
3. 学校主体の合同説明会・単独説明会・セミナー等の開催

4. その他(上記以外に可能なことがあれば記載をお願いします)

{

}

問19. その他、自由意見を記載をお願いします。

{

}

・別府大学卒業生に関するアンケートは以上になります。回答ありがとうございました。